

名前

チェック項目	チェック欄	コメント
構成が適切か？ 標準的な構成：はじめに（目的），方法，結果，考察，まとめ，謝辞，参考文献（はじめにの前に「要約」を設けても良い）．図表はまとめても良いし，文中に入れても良い．		
文体は適切か？ 正しい日本語で書く．基本は「である」調とする．結果などは過去形で記述．サイエンティフィックな文体，用語で記述する．「○○っぽい」→「○○質の（○○状の）」など．		
日記になっていないか？ 時系列での調査記録は不要．何日に何をしたのかを書いてもいいが，それよりも各ルートで観察したものを下位から上位に向かって書くべき．上下関係が不明の場合には，例えば「川（沢）の下流から順に，泥岩，凝灰岩，硬質頁岩が露出していた．各岩相を以下に詳述する．」などと書くとよい．		
図は適切か？ 調査位置図（能登半島全体もしくは北西部程度の地図に調査範囲を枠で囲むなど），ルート図（各ルートに番号（ルート1などを振ったり，○○沢ルートなどとルートに固有の名称を与え，それを地形図上に示す）が抜けていることが多い．また，調査位置図には緯度経度や明瞭な地名（県庁所在地や有名な市の名前など）を入れておき，第三者が見ても場所を検索しやすくすること．位置図にしても，露頭写真やサンプルの写真にしても，スケールを常に入れること．スケールを入れていない場合は対象物の大きさなどを図の説明に書き入れる．		調査位置図はあるか？（ ） ルート図はあるか？（ ） 地質図はあるか？（ ） 柱状図はあるか？（ ） 断面図はあるか？（ ） 観察物の写真，スケッチが適切か？（ ） 写真にスケールが入っているか？（ ） 図や表に番号，説明文があるか？（ ）
地層の記載方法が適切か？ 基本的には下位から上位に向かって記載する（見た順ではな		
地層境界について記述しているか？ 各岩相の境界はどうなっていたか？どのルートで各層の境界，下限，上限を把握できたか？地層は整合か？不整合か？		
対比方法は記述されているか？ 鍵層や岩相，化石など対比に何を用了かを記述する．ルート間での岩相の類似性や相違点についても記述する．		
地質図や調査地域全体の地質について解説があるか？ 走向傾斜はどうなっているか？一様か？ある地域だけおかしいか？ある方角に向かって連続的に変化しているのか？ 褶曲や断層などはないか？		
観察事実から矛盾無く地史を復元できているか？ 調査結果から確立した層序や各層同士の関係（上下，水平），地層の分布，化石などから矛盾無く地史を組み立てられているか．どういう環境からどういう環境に移り変わったか．それはいつ頃か．まずは自分たちのデータから復元する．それをフォローするように既往研究の引用を行うと良い．		
その他指摘事項		